

SSH 企画「富士山フィールドワーク」

10月1日(土)、富士スバルライン5合目にて地質と植生に関するフィールドワークを行いました。

1年生と2年生の希望者38名が参加し、2つのコース(①「御中道コース」、②「御庭+奥庭コース」)を、2グループに分かれて、午前と午後でそれぞれを周りました。天気にも恵まれ、まさにフィールドワーク日和でした。



★富士山FWの行程★

8:00 JR「谷保駅」集合 *貸し切りバスで移動

10:30 富士山5合目着

*午前の活動…1班:コース①、2班:コース②

12:30 昼食

*午後の活動…1班:コース②、2班:コース①

15:30 富士山5合目発

18:00 都立立川高校着 解散

①「御中道コース」は、森林限界を横切るコースになっており、コケ植物や地衣類の観察、森林限界に近い亜高山帯植生の観察、崩壊地の植生および富士山における一次遷移の現状に関するエクスカージョンを行いました。

②「御庭+奥庭コース」は、森林から森林限界へと登っていく御庭エリアと、下から富士山を見上げる御庭エリアの二か所で、かつての火口列の観察し、針葉樹の識別や森林限界の植物たちに関するエクスカージョンを行いました。

富士山は、比較的最近(約300年前)まで噴火していた火山であり、また標高が高く強風や雪崩にさらされる過酷な環境であるため、まだ森林が十分に育っていません。つまり、今まさにできつつある森林(遷移の途中)を見ることができるとのことです。生徒は、引率教員と積極的に会話をしながら、特徴ある富士山の植物や植生、地質・地形についての理解を深めていました。いつもは遠くから見ている富士山を、近くで、それも生物学的な観点と地学的な観点から観察・体感することができたことは、参加した生徒たちにとって貴重な財産となったと思います。この経験は今後の探究活動にも活かされることと期待しています。



生徒たちの感想

・先駆植物が山を昇っている姿を見て、このようにして遷移が行われていくのだと理解出来た。

・今まで富士山は外から楽しむだけであったが、今回のフィールドワークで初めて富士山の内部に迫った。それにより、富士山は日本一の高さを誇るというだけで国の宝とされているのではなく、火口列に植物が侵入する様子、遷移の様子といった、なかなか見られない瞬間を生で見る点においても、国の宝であると感じた。富士山にここまで迫ることはなかなかないので、今回のフィールドワークは大変貴重な経験となった。

・森林限界は、木々が「もう環境きついで生きるの無理っす!」という限界の地ではなく、少しずつでも領域をのぼしてのぼして、諦めずに厳しい環境と戦い続けている場所なのだとわかった。教科書や図鑑で見ると全部似たように見えていた木やコケ&地衣類も、手で触ってみたり近づいて幹や葉の裏までを見てみたりすると違いがとてもよくわかった。

生徒たちの感想（続き）

- ・風や冷気や雪など非常に厳しい環境でも、粘り強く生きていた植物たちに感動した。
- ・標高によって植生が変化することを実感できた。森林限界では地衣類が目立っていたが、コケ植物はあまりなくて、針葉樹林の林床ではコケ植物がたくさんいて、逆に地衣類はあまりいなかったから、どんな条件で地衣類よりコケ植物の方が多くなるのか気になった。また、富士山は独立峰で、氷河期を経験していないから高山植物があまりいなかったの、日本アルプスに行って高山植物を見てみたいと思った。
- ・前回のつくばサイエンスツアーで訪れた植物園ではひとつひとつの植物について学んだが、今回は植生として、植物全体を観察することが出来た。富士山は今まさに遷移の途中で、いろいろな状態の植生を見ることが出来た。何よりも日常とは違う、富士山の空気や景色をととても楽しめた。中学校で河口湖に移動教室に行ったが、その時は五合目の駐車場付近で「きれーだねー」と言っているだけだった。今回は実際に富士山の植生を見ながら歩き、周りの植物を学んだため、より富士山を楽しめた。
- ・地面がどこもかしこもスコリアで、溶岩のしびきがあんなにもそのまま固まって残るのがすごいと思った。また、溶岩の流れが固まった岩を見ると、噴火のときにタイムスリップしたら…と考えて、ぞくぞくした。生物は、植木鉢のお花や多くの人間のようにちゃんと世話をしないといけないものもあれば、高山植物やトビのようにどんな自然環境にもチャレンジして生きていくたくましい奴もいるんだと尊敬した。
- ・今まで、知識として植物の範囲の過程は知っていましたが、実際どんな感じでパイオニアが生えているのか見当が付きませんでした。でも、今日の体験を通して、理解することができました。はじめはなんだかよく分からなかった植物も、少しずつ分かるようになって、歩いていて「これはしらびぞだ！」などと思いながら歩けるようになって、すごく楽しかったです。
- ・富士山の植生分布について理解することができました。コメツガ、シラビソは初めて聞いた植物だったけど、幹の違いなどで見分けられるようになりました。富士山にある植物について全然知らなかったけど今回のフィールドワークを通してたくさん知れてよかったです。
- ・昨年の生物の授業で習った植生の変化を直接見ることが出来て本当に面白かったです。もっと長いスパンで、ゆっくりとどのように変化をしているのか見てみたいと思いました。将来、このあとの変化を見るまで長生きすることはできませんが、過去の記録などはあると思うので、過去の植生から変化を調べてみたいです。
- ・高山帯の植物という、あまり触れる機会のないものをたくさん観察できたので、これらの植物たちがどうやって過酷な環境を生きているのか、興味が湧きました。また、珍しい樹形の形成のされ方や遷移、地質等、富士山特有の現象の数々に興味がわき、少しは理解出来たと思います。
- ・カラマツ、シラビソ、コメツガなどの樹木の見分けができるようになった。富士山の場所によって森になってたり、あまりなっていないところがあるのが興味深かった。地衣類の種類について調べてみたいと思った。

